

「草枕」より抜粋

◇春風や惟然が耳に馬の鈴

◇馬子唄の鈴鹿越ゆる春の雨

◇馬子唄や白髪も染めで暮るゝ春

◇花の頃を越えてかしこし馬に嫁

◇海棠の露をふるふや物狂い

◇花の影女の影の朧かな

◇正一位女に化けて朧月

◇春の星を落として夜半のかざしかな

◇春の夜の雲に濡らすや洗い髪

◇春や今宵歌つかまつる御姿

◇海棠の精が出てくる月夜かな

◇うた折々月下の春ををちこちす

◇思い切って更け行く春の獨りかな

◇花の影女の影を重ねけり

◇春風にそら解け繻子の銘は何

◇木蓮の花許(ばかり)なる空を膽(みる)